



# やぶやぶにゆうす

認定保険代理士のいる店  
**緊急特別号**  
保険のコンサルタント  
0120-082-313

富士火災海上保険(株)  
三井住友海上火災保険(株)  
東京海上火災保険(株)  
あいおい損害保険(株)  
メットライフ火災  
オリックス生命保険(株)  
損保ジャパン  
AIG保険  
東京海上日動あんしん生命保険

編集・発行:特級代理店(株)大蔵保険コンサルタント(有)やぶやぶにゆうす 〒167-0032 東京都杉並区天沼3丁目2-6 トヨタビル2F TEL.03-3392-6765 FAX.03-3392-6793

新幹線も東北道も開通して  
いない中、3月18日にまずは  
仙台に、国道四号線をひたす  
ら走って仙台に入りました。  
と、あえず持つていけるだけ  
の援助物資、水、カセットコ  
ンロ、ボンベなどを車に積み  
込み、ガソリン不足が叫ばれ  
ていたころです。携帯用タン  
クにガソリンも用意して、車  
にはヒーターも入れず外は氷  
点下の中を震えながら走らせ  
ました。当時ライフレインが

## 家族の無事を確認に！

個人的にも当社の社長生誕  
地が岩手県の釜石、当時は富  
士製鉄マン(今は新日鉄で  
す)の父親の赴任先でした。  
小中高と多感な青春期を送っ  
た思い出の地でありました。  
また現在社長の母親と姉が仙  
台に在住ということでもと  
も静観していられる状態ではあ  
りませんでした。会社として  
は即、地震保険の勉強会を開  
きまして、関東圏、東北圏の  
お客様の地震被害に答えられ  
るようにいたしました。これ  
は後半でお伝えいたします。  
前半は行動する社長被災地に  
行くをお送りいたします。



釜石市の中心部です。一ヶ月経っており、だいぶ  
片付いたそうです。釜石港の近くです。

全滅でした。電話で家族の無  
事は確認が出来ましたが実際  
元気な姿を見てほっとした、  
初めて親孝行をしたねとお袋  
に言われたよとは社長の言  
葉、仙台市の中心部に住んで  
おりますので津波の影響がな  
く住居があるだけでも一安心  
です。

## 故郷釜石に慰問決行！ そこは壊滅状態でした。

ここからは社長のレポート  
です。  
4月8日から10日まで故郷  
釜石に行ってきました。前日  
の余震で古川市と奥州市の東

北自動車道が通行止めの真っ  
暗な北上市に深夜入り、9日  
の朝対策本部での釜石市長の  
出迎への後支援物資の寄付そ  
して個人的な友人をお見舞い  
訪問しました。  
その後亡くなった知人のい  
る大槌町の避難所にもお見舞  
いや物資を、しかるべきとこ  
ろをとらしてけれないとき  
に避難所の責任者がたまたま  
幼馴染(先輩)で便宜もほ  
かってくれ、受け取ってもら  
えることに、先程「こんな  
美味いロースハムやハン  
バーグを食べたのは久しぶ  
り！」と二百三十人の避難民  
全員から感謝されたのお礼  
の電話も入りま  
した。

### 東日本大震災 地震が！津波が！原発が！

NEW WORLD  
NEWSOLUTION  
NEW RISK

10日には石巻の友人見舞いや多  
賀城の被害物件の立会調査をし  
て帰ってきました被害現地はテ  
レレビ・新聞以上に悲惨でした。  
一カ月たつのに、未だにガレ  
キの街です。何かがくすぶる異  
様な臭いも釜石港には5,000  
0トン級の鋼鉄船が魚市場の隣  
の岸壁に打ち揚げられ、いたる  
ところ全壊した家や車が、  
これでも綺麗になったとか？特  
に釜石市の鶴住居や大槌町は町  
が津波と火事の両方でまったく  
街や住宅がなくなっていました。  
山に船や車の残骸の一部や木に  
置や家具がひっかかっていたま  
ま。  
全てを失って途方にくれる友人  
にもいっぱい会いました。  
同行した友人はあまりの惨状に  
夜眠れなかったとか、



住宅に車が！この家にはもう住めないの  
でしょうか？



詰めるだけ積みました。援助物資です。

石巻の友人「鶴亀」保険代理  
店は元気でした。  
一日三本の電話の処理をこ  
なし、18名の死亡事故に対応  
をして車両保険での地震・津  
波特約での支払い六百五十件  
を処理し昨日までは拡張担保  
の立会同行を終え、今日から  
一般住宅の立会同行とのこ  
と。その一方、避難所代わり  
に家の2階を開放して一時は  
400人を収容していたそうで  
す。その子供たちの洗濯物で  
事務所の回りはいっぱいまし  
た。  
乗合代理店ですが、生・損保  
や特約も確認できる「自社顧  
客管理システム」でお客様の  
不安や問い合わせに即時対応



ここには高校が、住宅が建っていました。  
今は荒涼とした風景に変わりました。



大蔵個人だけではなく、多くの  
友人知人、賛同いただいたご契  
約者の皆様の厚い思いを釜石市  
長に届けてきました。  
協力くださった皆様有難うござ  
いました。



港にタンカーが乗り上げ  
です！

してました。  
今回の震災では原則保険会社の  
コールセンターや対策室が窓口  
なのですが、電話がつかなら  
ず、不安にかられた他社に加入  
の方も「証券をみてほしい」と  
駆け込んでこられる方も多いそ  
うです。  
今は保険会社からも鶴亀さん  
らお任せしますとのこと。  
「保険は希望の光！」まさにお  
客様の不安を取りのぞき信頼の  
「絆」を深めていました。

